

実践 鹿屋市立大始良中学校

1 はじめに

本校は、平成19年度に鹿屋市立図書館研究提携校の指定を受け、読書活動を本校の特色ある教育活動の一つとし、家庭・地域との連携を図りながら、全教育活動を通して読書活動を推進してきている。

今年度は、「豊かな心を育て、コミュニケーション能力を高める教育活動の推進～読書活動を通して～」を研究主題とし、これまでの取組を継続しつつ、新たに言語活動を踏まえた思考力、判断力、表現力の育成をねらいとした取組も行っている。

2 取組の概要

(1) 取組の柱

読書活動を推進し、生徒の読書への意欲を高めるために、以下の3点を取組の柱に学校全体で実践している。

ア 読書活動の充実

イ 学校図書館等の環境の整備

ウ 家庭・地域・関係機関との連携



読書スクールの宣言式

(2) 取組の内容

ア 読書活動の充実

(ア) 「読書スクール」宣言

本年度、生徒の読書意欲を喚起し、朝読書等の読書活動に積極的に参加する雰囲気醸成するために、鹿屋市立図書館長を招き、「読書スクール」宣言式を行った。心を豊かにする本との出会いを大切に、積極的に読書を楽しもうと全校生徒で確認し合った。

「読書スクール」宣言

大始良中学校では、読書を通して心を豊かにするために感動や共感を受ける本との出会いを大切にしていきたいと考えています。そのために、たとえ短い時間であっても学校や家庭で読書するように次のことに取り組みます。

- 1 読書の習慣を身につけるために「朝読書」に積極的に取り組みます。
- 2 多くの人に読書の楽しさを伝えるための活動に取り組みます。
- 3 「大始良中おすすめの本50選」を3年間で読破します。

わたしたちは、読書に親しみ、心を豊かにするために、ここに「読書スクール」を宣言しこれらの活動に取り組みます。そして多くの人たちに読書の素晴らしさを伝えます。

平成25年5月13日

鹿屋市立大始良中学校生徒会

(イ) 朝の読書活動

週4日(朝会の実施される日を除く)朝読書の時間を全校一斉に設定し、教師もともに落ち着いた静かな環境で自分の選んだ本を読んでいる。休み時間に続きを読んでいる姿も見られ、読書の習慣が定着してきている。

(ウ) ブックトックやアニメーション

読書の幅を広げ、読書の楽しさを味わわせるためにブックトックやアニメーションを実施している。図書室等から選んだ本について、宣伝を考え、発表するという「考えを伝え合う」活動を通して、思考力、判断力、表現力を育成することをねらいとして

いる。

イ 学校図書館等の環境整備

(ア) 大始良中おすすめの本50選・「おいも文庫」の整備

生徒に人気のある本や読みやすい本，国語の教科書等に紹介してある本，話題の新聞などを中心に選書を行い，「大始良中おすすめの本50選」とした。また，これらの本を中心に，いつでも自由に借りられるように教室にも「おいも文庫」(学級文庫)を設置し，いつでも本が身近にある環境を整えた。

(イ) 読書の木

生徒が読んだ本について，簡単なあらすじや感想を銀杏の葉の形のカードに記入させ，図書室に掲示してある木の形の台紙に貼り付け，お互いの読書の交流を図っている。学年末には，大きな木がで吹き上がる。

ウ 家庭・地域・関係機関との連携

(ア) P T A 読書活動推進委員会の設置

家庭での読書活動の充実を目指して P T A 専門部の一つに「読書活動推進委員会」を組織して活動している。文化祭でのブックトーク発表や，朝読書での読み聞かせ等に取り組んでいる。



文化祭でのブックトーク



朝読書での読み聞かせ

(イ) 小学校での読み聞かせ

昨年度から学期1回，本校生徒が，大始良小学校の児童を対象に読み聞かせを行っている。



大始良小学校での読み聞かせ

読み聞かせをした感想

最初からすごく緊張しました。みんな落ち着いて静かに聞いてくれたので，読みやすかったです。どんなふうにしたら物語に入り込んでくれるのかと思って，できるだけはっきり感情を入れながら読みました。

(ウ) ブックトーク学習会

全校的な読書活動推進に向けて，鹿屋市立図書館から司書を講師として招き，生徒を対象にブックトークの学習会を行った。



講師によるモデルブックトーク



生徒相互のミニブックトーク

3 おわりに

読書環境の整備から学力向上のための取組へと生徒の実態に合わせて取組を続けてきた。その結果，生徒が主体的に本を選ぶ環境づくりが進み，読書に親しむ生徒が増えてきた。また，生徒の読書への興味・関心の高まりが，言語活動の充実にも大きく貢献している。

今後は，授業や諸活動の調べ学習等で積極的に図書館を活用し，読書によって培われた生徒の力を，学力の向上に結び付けていけるようさらに研究を重ねていきたい。